



今年是一个時代の始まり。2020年代という10年間、2050年までの21世紀前半期。時代が変わることは、価値が転換することを伴う。「工業化・都市化・画一化」を価値とする日本の「一極集中時代」の終焉とを感じる。協同総研はこうした「時代観」に敏感であり、その議論をリードする存在でありたい。理論と実践の交流というコンセプトが活かされる時である。「生存の危機」の時代における協同総研の新たな存在意義を、労働者協同組合法制定と結び見出していきたい。その絶対的な条件は、未来的存在である若者が参加し、学び育っているという実感が持てる魅力。出会い・学び・気づきが呼応し合う育ち合いの研究所にしていこう。

(古村 伸宏)

2020年は東京オリンピックが開催される予定だったが、東京は大爆発により崩壊し、廃墟からは若者たちが新しい国づくりに向けて立ち上がるというシーンで、1980年代に描かれた大友克洋の作品「AKIRA」は終わる。荒唐無稽なSF作品として笑い飛ばすのは簡単だが、暗示的な内容であるとして一部で話題になっている。

物理的な崩壊はなくても、オリパラ後は大不況に見舞われ、多くの中小企業が倒産に追い込まれ、人々の「普通の暮らし」が脅かされる事態になるのではないかという不安が広がる。一刻も早く、労働者協同組合の法制化を実現する必要がある。(利根川 徳)

私は昨年「『超』の2018年、『出』の2019年を展望して」と書いた。2019年は「協同組合関係研究所等交流会」「寄附講座・他団体への寄稿・報告の増加」「協同総研関西会員集会」「協同ではたらくガイドブック(入門編)発行」等、法制化時代に関係を広げ・深める意味で『出』が達成できた。しかし私の父、城戸愛子さん、松岡公明さんが急逝し、人との別れも多かった年でもあった。2020年は『発』を目指す。「協同の『発見』」は前提として、『発信』『発展』『発達』『創発』『発想』『発意』『発刊』『発汗』(笑)。労働者協同組合が社会の希望になる研究を推進し、個人的には本厄なので持続可能な体をつくりたい。(相良 孝雄)

子育てしていると子どもが風邪をひいたと休み、熱がでたと保育園から呼び出しを受けます。そんなときに備えて、締め切りを早め早めに再設定するよう心がけているのですが、あれもこれもと思うと妙に疲れてしまうことがあります。リスクを回避しようと考えることは大切なことですが、強いストレスにもなりうるようです。何かあれば助け合える仲間がいると信じ、おおらかな気持ちや楽しむ気持ちを忘れずに、前向きに仕事に取り組んでいく一年にしたいと思います。(岩城 由紀子)

2020年は遠い未来だと思っていた。東日本大震災から3年目に東京オリンピックが決まったとき、大学初めての夏をフィリピンの農村で過ごしていたが、日本という地理的条件の中でどういった社会を目指すのか、その転換期を無駄にした決断に肩を落とした。Local Futuresのヘレナは「すべての社会課題が繋がっているということは、解決策も繋がっているということ」と話す。世界中で、自分達の未来のために行動を始めた若者たちは、システムそのものの変革を訴えている。地域に根差した協同労働こそが、近い未来の新しい仕組みになるよう、日々邁進。(荒井 絵理菜)

我々が20数年訴え続けてきた「労働者協同組合法」(仮称)が採択される年を迎えました。同法は協同組合法史に照らすと森林組合法(1978)に続くものです。

しかし、その意義は、第一次産業系統で事業者を組合員とする協同組合、消費者を組合員とする「生協」、元・事業者を組合員とする協同組合と並び、事業に労働者性の基準を満たして従事する者(労働者)を組合員とする協同組合が法認されることに止まるのでしょうか。

労働者の法的メルクマールが揺らいでいるものの、働かなければ生活の糧を得られない人がほとんどである事態を踏まえると労働者とは、凡そ人は、と同義だからです。(島村 博)

日本も世界も、排他と分断のはびこる社会。人を簡単に殺してしまふ風潮、為政者にとっては民主主義はどこ吹く風、地球と人類生存の危機。何とかしなければ・・・



労協法の制定により、協同労働の軸である働く場での民主主義と基本的人権(自由)を享受できる事業体を作り出せると確信して、この7年を過ごす所存です

**2020年7月
岡安 喜三郎**

研究所活動日誌 (2019.12.16~2020.1.15)

12月

- 16日(月) 明治大学 地域活性化論B 実習受け入れ、社会福祉推進事業アンケートWT会議
- 17日(火) 協同総研ホームページ開発会議、未来人財部 部会
- 18日(水) 埼玉大学ワーカーズコープ論寄附講座出講(相良)
- 19日(木) センター事業団暮らしのアンケート委員会、労協協会の皆さんと懇談、社会的企業研究会打ち合わせ
- 21日(土) センター事業団関西事業本部所長会議 参加・報告
『『協同ではたらくガイドブック』から法制化後に考えること』(相良)
- 22日(日) JYCフォーラムとちぎ大会実行委員会
- 23日(月) 第4回社会福祉推進事業調査検討委員会、協同労働研究会、人づくりに関する意見・情報交換会(日本協同組合連携機構)
- 24日(火) 佐々木聡会員と懇談(博士論文)
- 25日(水) 新潟大学ワーカーズコープ論寄附講座出講(相良)
- 26日(木) 労協連就職氷河期プロジェクト、労協連望年会、協同の発見誌1月号特集センター事業団事業本部本部長・地域事業団代表 座談会
- 27日(金) 福井県立大学北川太一先生『非営利組織論』出講(相良)
- 12月28日(土)- 研究所 閉所
- 2020年1月5日(日)

2020年1月

- 6日(月) 仕事はじめ、和歌山大学ワーカーズコープ論出講(相良)
- 7日(火) 労協連合同5役会議、協同の発見誌1月号掲載分大高ゼミと座談会
- 8日(水) 協同総合研究所 中間監査、協同総研事務局会議
- 9日(木) 桃山学院大学ワーカーズコープ論出講(相良)
- 10日(金) 労協連新春交歓会
- 14日(火) 社会福祉推進事業 アセスメントWT会議
- 15-16日(水-木) 労協連事業推進会議
- 15日(水) 埼玉大学ワーカーズコープ論寄附講座、協同組合関係研究所等交流会実行委員会(日本協同組合連携機構)

今後の活動予定 (2020.1.16~6.30)

2020年1月

- 16日(木) 和歌山大学ワーカーズコープ論出講(相良)
- 17日(金) 本部シンポジオン
- 18日(土) 第3回協同総合研究所理事会、協同総合研究所会員新年会
- 20日(月) 和歌山大学ワーカーズコープ論出講(相良)、桃山学院大学寄付講座振り返り
- 21日(火) 全国協同集会 in Kanagawa 実行委員会
- 24日(金) 労協連理事会、日本協同組合学会常任理事会
- 25日(土) 埼玉大学ワーカーズコープ論寄附講座、公開講義【未来の働き方シンポジウム】
- 27日(月) 本部協同労働プラットフォーム会議
- 28日(火) 日本協同組合学会 教育部会、首都圏若者サポートネット運営委員会
- 29日(水) 埼玉大学ワーカーズコープ寄附講座
- 30日(木) 第5回社会福祉推進事業 調査検討委員会、社会連帯カレッジ
- 31日(金) 専修大学内山哲郎先生と懇談、センター事業団暮らしのアンケート委員会

2月

- 3日(月) 本部よい仕事研究交流集会
- 4日(火) 労協連合同5役会議、協同組合関係研究所等交流会実行委員会(日本協同組合連携機構)
- 5-6日(水-木) 協同労働リーダー基礎研修
- 7日(金) 協同総研事務局会議
- 8-9日(土-日) 地域子育てフォーラム
- 10-14日(月-金) 琉球大学ワーカーズコープ寄附講座
- 13-14日(木-金) センター事業団理事会
- 15-16日(土-日) JYC全国若者・ひきこもり交流実践交流会 in とちぎ
- 19日(水) ワーカーズコープ寄付講座振り返り会議
- 20日(木) 全国未来人材会議
- 21日(金) 武相協同組織等研究会
- 26日(水) 労働関係研究所座談会
- 28日(金) 日本社会連帯機構理事会
- 2月29日(土)-
3月1日(日) 全国よい仕事研究交流集会2020

3月

- 2日(月) 労協連就職氷河期世代PJ
- 3日(火) 労協連合同5役会議
- 4日(水) 協同総研事務局会議
- 9日(月) 協同組合関係研究所等交流会実行委員会(日本協同組合連携機構)
- 12日(木) 協同労働研究会
- 14日(土) 第4回協同総合研究所理事会
- 19日(木) 社会福祉推進事業調査検討委員会 報告会
- 26-27日(木-金) センター事業団理事会

4月

- 1日(木) センター事業団 入団式
- 9日(木) 協同組合関係研究所等交流会実行委員会(日本協同組合連携機構)
- 11日(土) 協同総研関西会員集会(京都)
- 16-17日(木-金) センター事業団全国所長会議
- 26-27日(日-月) 協同総研事務局合宿

5月

- 14-15日(木-金) 全国協同組合関係研究所等交流集会(名古屋)

6月

- 6日(土) 日本協同組合学会 春季研究大会(大学生協連)
- 19-20日(金-土) 日本労協連総会
- 20-21日(土-日) 日本労協連 労協センター事業団総代会

今後の協同総研 理事会・総会

- 3月14日(土) 第4回 理事会 5月23日(土) 第5回 理事会
- 6月27日(土) 協同総合研究所 総会(労協連本部)

協同の発見誌活用プロジェクト

「協同」

の

実践・研究の宝庫

今、知りたい情報と聞きたいテーマがここに!!

一般社団法人 協同総合研究所

特別価格

1冊 1,000円

販売中!!

会員募集中!!

■年会費：個人会員／購読会員 12,000円

学生・障がい者 6,000円

団体会員 30,000円

■会員サービス：会員の方は、総会への参加(年1回)及び下記のサービスが受けられます

- ・所報『協同の発見』誌(毎月1回)の会員価格適用での頒布
- ・各種研究会への参加費の会員価格適用
- ・書籍購入の際の会員価格適用

【購入申込書】

完成しました！



ワーカーズコース 協同ではたらくガイドブック — 入門編 —

特徴

- ✓ ワーカーズコースを知らない人にも分かりやすい構成
- ✓ 実践している人の声を掲載し、働き方をイメージできるように
- ✓ 「立ち上げプロセス」では、手順やチェックポイントで詳細を解説

Contents

第1部 ワーカーズコープで働く

私たち協同労働やっています！/私たちは協同労働で挑戦する/協同労働 ワーカーズコープが発見した新しい働き方とは？/リーダーたちの本音トーク/協同労働への期待

第2部 ワーカーズコープを立ち上げる

ワーカーズコープ立ち上げプロセス/よい仕事のための心がけ/はじめるまえに知りたい協同労働Q&A/仕事おこし実践事例/海外事例 スペインにおけるワーカーズコープ

〈資料〉「労働者協同組合」の法制化/連絡先一覧/協同総合福祉拠点/協同労働の協同組合の原則/むすびに

“

わたしたちが暮らす地域で、わたしたちに必要な仕事を、わたしたち自身がおこす。ワーカーズコープが実践するのは、そんな「働きがい」「生きがい」を育てる新しい働き方。 — 「はじめに」より

”

2019年9月30日発行

発行・制作 一般社団法人 協同総合研究所

定価：500円（税込）

会員・組合員：300円（税込）

ご注文FAX番号 03-6907-8034

下記の**太枠**に必要事項をご記入の上、協同総合研究所にお送りください。

ワーカーズコース
協同ではたらくガイドブック—入門編—

定価：500円（税込）

会員・組合員：300円（税込）



ご注文QRコード
こちらのコードから
ご注文いただけます。

ふりがな ご氏名	購入部数	部
所属先		
送付先 〒 -		
電話番号	メールアドレス	

一般社団法人 協同総合研究所

TEL: 03-6907-8033

E-mail: kyodoken@roukyou.gr.jp

※お名前、ご住所などの個人情報の記入欄を設けてありますが、個人情報は書籍の発送・請求以外の目的に使用することはありません。また、ご本人の同意なく第三者に提供することございません。